



外務省・対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」に  
外国語学部が採択  
カナダの大学生とオンラインで学生交流

外国語学部は9月29日、外務省の対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」（一般公募）に採択され、カナダのアルバータ州立大学とオンラインで学生交流（メイン使用言語：英語）を行います。

外国語学部では2016年の学部開設当初からオンラインを活用した多様な学びも実践しており、今年度もアジア圏や欧米圏との正課授業（CLABプログラム）や学生企画交流などを展開中です。留学や海外学生を招くことが難しい状況で工夫を凝らした異文化体験の機会をご取材ください。

同プロジェクトは、親日派・知日派を発掘することを目的とした国際交流事業で、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）が企画運営しています。本来は、日本と外国から相互に学生を派遣して対面で交流しますが、コロナ下とあって、遠隔実施になります。

この活動を通じて日本とカナダとの交流が一層活発化するとともに、双方日本の魅力に触れ、今後日本とカナダの友好関係の橋渡しとしての役割を担うことを期待します。

「カケハシ・プロジェクト」オンライン「Picture Book をめぐる国際交流」【名城大学・アルバータ州立大学】	
日時	2021年9月29日 メイン交流セッション 8:30~10:00（小原章裕学長も視察予定） 自由交流 Language Lounge 10:00~10:30
場所	ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階 社会連携ゾーン shake
内容	◆交流全体テーマ：Picture Book をめぐる国際交流◆ 以下は外国語学部からの話題提供プレゼンテーション（英語） ① 柳沢秀郎教授ゼミ：Picture Book と現代日本文化（広告・ファッション・ゲーム） ② 西尾由里教授ゼミ：Picture Book と現代日本文化（漫画・アニメ） ③ 池沙弥准教授ゼミ：Picture Book と現代日本文化（オノマトペと現代日本語使用） ※各ゼミの切り口で設定テーマに沿ってプレゼンし、カナダの学生とディスカッション等を展開。 ※各ゼミのプレゼンのポイントは別紙ご参照。
今回の交流のポイント	当日は外国語学部生が司会進行役を担当するなど、双方の学生主体で交流します（教員はサポート役）。今回は各ゼミの専攻内容に沿ったプレゼンテーションを学生主体で準備しますので、単なる学生交流ではなく、学部の重要な研究活動の一環でもあります。
参加学生	外国語学部生は3、4年生約30人、アルバータ州立大学は日本文化などを学ぶ学生約20人が参加予定
アルバータ州立大学情報	カナダ国内トップ5の学生数約4万人の総合大学（世界大学ランキング2022は125位）。日加学術交流の拠点である「高円宮日本教育・研究センター」を設置しており、人文科学、工学、健康科学等の分野では国際的に高い評価を得ている大学です。
問い合わせ	外国語学部事務室 電話 052 (832) 1151（代表）
備考	新型コロナウイルス感染症対策のためキャンパスは入構制限をしています。事前許可がない場合は入構できませんで、 <b>実施2日前まで</b> にご連絡ください。

## 1. 当日の各ゼミによるプレゼンテーションのポイント（発表順）

## (1) 柳沢ゼミ：Picture Book と現代日本文化(広告・ファッション・ゲーム)

ポイント ●英語圏の創作物を研究対象とする柳沢ゼミナールでは、普段からアメリカやイギリスの小説、映画、アニメなどの構造や表象を分析しています。今回のテーマである picture book (絵本)は昔から日本の幼児教育の基幹をなし、それゆえに『桃太郎』や『かぐや姫』などはさまざまな形で現代の日本文化に表象化されています。そこで柳沢ゼミのセッションでは、日本で古くから読まれている代表的な picture book コンテンツが現代日本の広告、テレビ CM、ファッション、ゲームなどの文化にどのような形で取り入れられているかについて発表します。

## (2) 西尾ゼミ：Picture Book と現代日本文化(漫画・アニメ)

ポイント ●英語音声学や第二言語習得を研究している西尾ゼミでは、その理論的学習の学びを社会へ還元するため、子供たちを対象に英語絵本の読み聞かせ会を、年に数回、地域連携プロジェクトとして行っています。今回は、学生など若者から絶大な人気を誇る漫画からアニメになっている作品を取り上げ、その中に内在された日本人的価値観について焦点を当てます。またその価値観は、実は幼少期に触れる「泣いた赤鬼」などの絵本の登場人物や行動に表現され、無意識のうちに自然に刷り込まれているという現象について発表します。

## (3) 池ゼミ：Picture Book と現代日本文化(オノマトペと現代日本語使用)

ポイント ●社会言語学を研究する池ゼミでは、言語使用と価値観や世界観の関係性をよく分析しています。絵本は語彙のシンプルさからしばしば外国語学習でも利用されていますが、一つの言語を他の言語に翻訳して理解するのは簡単ではありません。今回は日本語の特徴のひとつであるオノマトペに焦点を当て、英語の絵本が日本語に翻訳されたときにどのようなオノマトペを使った表現になるのか、またそれらのオノマトペは日本語日常会話ではどのように使われているのかについて発表し、絵本を使った日本語学習の在り方を示します。

## 2. 今回の交流に向けた学生たちの準備風景



————以下、参考：各種サイトのQRコード————

●外国語学部 HP



●学部「学びの掲示版」



●教員紹介

